



八木スカウト(左)と握手をして笑顔を見せる松山(右) 11日午後、八戸学院大学

松山(八学大)「長く活躍を」 育成1位指名 中日あいさつ

10月に東京都で開かれたプロ野球ドラフト会議で、八戸学院大学の投手・松山晋也(七戸町出身、野辺地西高出)を育成1位指名した中日の関係者が11日、指名あいさつのため同大を訪れた。「速いストリートと落ちる変化球で三振が取れる投手。1軍で活躍できる選手になってもらいたい」と激励した。

同日を訪れたのは中日スカウト部の松永幸男部長と八木智哉スカウトの2人。八木スカウトは松山について「今年1年間(大学のリーグ戦で)本当に頑張っていた選手で、伸びしろがある。まずは体づくりを第一に考えてほしい」と話した。松山は、八木スカウトから立浪和義監督のサインが書かれたドラフト会議のIDカードを首にかけてもらった後、握手を交わして笑顔を見せた。支配下登録が当面の目標となる松山は「長く活躍できるように、今の時期を大切に練習に取り組む」と話し、「先発でも中継ぎでもチームに必要とされる場所で、ひ

たむぎに腕を振っていき
たい」と意気込んだ。
(相澤賢斉)